

# 1. 学校評価総括

<p>建学の理念</p>	<p>「心身ともに健康で、使命感を持つ、誠実な人間を育成する」</p>	
<p>教育目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 明朗で知性溢れる人の育成</li> <li>2. 不屈の精神をもって、使命を全うする人の育成</li> <li>3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人の育成</li> <li>4. この世に生をうけた幸福を知る人の育成</li> </ol>	
<p>これまでの成果と課題</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、前年度よりも多くの行事を日程調整や実施方法の工夫をすることで、生徒の協力も得ながら実施することができた。また、学校としては、行事だけでなく日常の学校生活でも感染症のクラスターを発生させないために、感染症予防対策を徹底した。教員による日々の校内の消毒、昼食時の黙食の励行、うがい・手洗いの徹底、三密を避ける行動を指導した。授業については、Teamsを活用したオンライン授業を行うときもあったが、予定通りの課程を修了することができた。団体活動については、コロナ禍での宿泊行事の運営体制が十分ではないと判断し、中学1年、2年の林間・臨海学校は中止せざるをえなかったが、中3の研修旅行、高2の修学旅行は、感染症拡大状況が下火になった10月に行うことができた。また、文化発表会や合唱コンクールは動画による発表という形式も活用しながら実施、陸上競技大会も中学と高校を分けて、編成し直すことで実施することができた。行事の実施については保護者の方のご理解とご協力があったことで実現できたことであり、改めて感謝申し上げるところである。また、マスク着用による認知能力の低下や団体活動の不足から、人間関係の構築に苦勞している生徒も見られる。校外との対応においても列車マナーについてご意見をいただくこともあった。この点については、6年間通い続ける生徒の人間教育をする学園として、継続して取り組むべき課題であり、生徒が安心して学園生活を送ることができるよう教育実践をしなければいけない。</p>	
	<p>具体的目標</p>	<p>総合評価</p>
<p>国際人を育てる教育</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 留学制度の充実</li> <li>2. 進路指導の充実</li> <li>3. 学力をつける授業の充実</li> <li>4. 国際交流制度の充実</li> <li>5. 卒業生・在校生の満足度向上</li> <li>6. 施設・設備の充実</li> </ol>	<p>依然として新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、従来通りの学園生活に近づけていけるよう、学園として努力を重ねた。しかし、中学1年生でのオリエンテーション合宿や林間学校など、本来の集団行動を通して培われるべき、他者への配慮や互いに協力し合いながら課題に取り組む協調性、リーダーシップについては学びが浅くなっているという課題もある。他の行事を通して、経験できる学びを増やしてはいるが、来年度に実施できなければ、中学3年間で宿泊行事を経験できない学年も出てしまうため、関係各所と協力をしながら、実施できる方法を検討している。オンライン授業については、中学1年生では一部戸惑う生徒もいたが、その他の学年は大きな問題もなく実施することができた。令和7年度から大学入学共通テストの科目となる「情報」の学習への足掛かりとするため、ICT教育をさらに促進していきたい。学業面では、低学年からハイレベルな内容に興味を持つ生徒も多い一方で、基礎基本の復習が必要な生徒もいるため、今後、ICTを用いた個別学習のしくみを検討している。次年度以降、学校行事を安全に再開すること、生徒の社会性の醸成に取り組むこと、学業面での二極化現象に対応することを課題としていく。また、手段としてICTを活用し、教員の労働時間の削減と研修の充実にも取り組みたい。</p>
<p>入学志願者・入学者の安定確保</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 六年一貫教育の充実のための内部進学生支援の充実</li> <li>2. 外部児童・生徒募集の充実</li> </ol>	
<p>教育の意識改革・行動改革の実施</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科会議の充実</li> <li>2. 教員組織の改革</li> <li>3. 学校評価の導入</li> <li>4. 教員評価制度の導入と研修の充実</li> </ol>	